

**お客様 各位**

**東日本電子計測株式会社**  
<http://www.hdknet.co.jp>

## 汎用物理シュミレーションソフト 「マルチフィジックスシミュレーション」 in 仙台 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび弊社では計測エンジニアリングシステム（株）様の協力により、マルチフィジックスシミュレーション(CAE)ソフトウェア「COMSOL Multiphysics」のセミナーを開催いたします。

ものつくりの設計、開発段階において、仮想モデルによるシミュレーションは開発期間の短縮とコスト削減を実現した上で品質向上を図れるため、重要性は非常に高くなっております。

是非、受講申し込みをお待ちしております。

弊社担当までメールでご連絡いただくか、あるいは下記申込書で FAX にてお申し込みください。

なお、ご不明な点がございましたらお問い合わせください。宜しくお願い致します。

敬具

## 記

日 程 : 2015 年 7 月 14 日 (火) 10:00-12:00、13:00-16:00

セミナー内容: 第 1 部 10:00-12:00 「COMSOL Multiphysics」の製品ご紹介(座学)

第 2 部 13:00-16:00 「COMSOL Multiphysics」入門ハンズオンセミナー(実機操作)

定 員 : 第 1 部 **20**名・第 2 部 **8**名 (定員になりしだい締め切りとさせていただきます)

※第 2 部(実機操作)については、同事業者様複数名で 1 台をご利用いただく場合がございますのでご了承願います。

会 場 : 東日本電子計測(株) 3F 会議室 (仙台市泉区南光台 4 丁目 32-19)

交 通 : 徒歩の場合 仙台市地下鉄 旭ヶ丘駅 徒歩約 15 分 / 黒松駅 徒歩約 10 分

バスの場合 仙台市地下鉄 旭ヶ丘駅 5 番バス乗り場(南光台四丁目下車)

受 講 料 : 無 料

協 賛 : 計測エンジニアリングシステム株式会社 様

### 「マルチフィジックスシミュレーション」 in 仙台 セミナー お申込み書

ご参加いただけるご担当者様をご連絡ください。なお、ご記入いただくお客様の個人情報は、受講のご案内や弊社からのご案内を行うために使用させていただきます。

貴社名	
ご部署名	
お名前	
Eメールアドレス	
TEL / FAX	/
参加希望	<input type="checkbox"/> 一部      ・ <input type="checkbox"/> 二部      ※どちらか一方でも結構です。
交通手段	<input type="checkbox"/> お車      ・ <input type="checkbox"/> 公共交通機関

東日本電子計測(株)宛 FAX:022-275-2422

## セミナー説明

第1部 10:00-12:00	「COMSOL Multiphysics」の 製品ご紹介(座学)	COMSOL Multiphysics の機能や応用事例を、デモ を交えてご紹介します。	定員 20名
第2部 13:00-16:00	「COMSOL Multiphysics」入門 ハンズオンセミナー (実機操作)	「入門コース」 (初めて COMSOL を操作される方向け) に近い形の操作実習を行い、解析手順を学んで いただけます。  同事業者様複数名で1台をご利用いただく場合がございます のでご了承願います。	定員 8名

## ◎COMSOL Multiphysics について



COMSOL Multiphysics は、スウェーデン・COMSOL AB が「マルチフィジックス解析」を前提に開発し、1990 年代半ばより米国 COMSOL Inc.から全世界に向けて発売している有限要素法(FEM)のシミュレーションソフトウェアです。

特徴として、1つのソフトウェア・1つの統合 GUI 上でモデル作成(汎用 CAD との間でデータとパラメータの同期入力可能)から物性値設定、フィジックス設定、メッシュ作成、計算、ポスト処理、可視化(グラフ、3D アニメーション等)までの一貫したマルチフィジックス解析が可能です。

機械(構造)、流体(CFD)、音響、電磁気、化学等の工学分野と、それらが複合した応用分野としてマイクロ波応用技術、波動光学、半導体、プラズマ、MEMS/NEMS、MicroTAS、めっき、腐食、燃料電池、医療、健康、食品、バイオ、土木、地球科学といった広範囲な分野に対応した専門分野別モジュールが用意され、同梱のフィジックス設定(分野に対応した支配方程式を含む)や材料設定、ひな形として利用できる解析結果付きサンプルモデルを提供し、全て1つの共通プラットフォーム上で解析できます。

ソフトウェアのオープン性も大きな特徴で、MATLAB や Excel との連携、ユーザ独自の物性値のライブラリ化や、PDE モードとして偏微分方程式自体を紙面での記述に近い形で入力してユーザ独自のフィジックスを作成し、ソフトウェア同梱の既存フィジックスと任意に連成できます。

(独自フィジックスの作成に C や FORTRAN、Java 等のソフトウェア開発言語は不要)

現在発売中のバージョン 5.1 では、さらなるオープン化を進めた世界初の機能として「Application Builder」が同梱されています。これは作成したマルチフィジックス CAE モデルの GUI や機能を自由にカスタマイズして Web アプリケーション化し、即座に全社展開できます。

別売の「COMSOL Server」を利用すれば、Application Builder で作成したモデルの解析パラメータの変更と再計算、可視化を PC 端末だけでなく、タブレット端末(iOS、Android、Windows に対応)でも操作できます。

製品説明は URL: <http://www.kesco.co.jp/comsol/>